

つなまち

2015年1月20日発行

No.196 TSUNAN-MACHI

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 河田 強一
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

12月定例会 12/10~12

議長新年のあいさつ	02
条例の制定・改正、人事、請願、陳情、発議案、補正予算	03
一般質問 町政を問う	04~10
平成27年度 建策要望事項	11
委員会レポート	12~13
町民登場 この人に会いました	14



寒い冬も「元気パワー」で



恵福園で披露された長生学園のフラダンスクラブとおどりクラブの皆さん

平成26年第4回町議会定例会が12月10日から12日までの3日間開催されました。初日は一般質問6人、常任委員会を行い、2日目一般質問7人、最終日は専決処分の承認、人権擁護委員の推薦、町固定資産評価審査委員の選任、議員報酬等、特別職給与、町職員の給与に関する条例改正、町保育事業等に関する条例制定について審議されました。報酬等、給与については賛否が分かれ、平成26年度補正予算についても活発な議論がされました。平成26年度一般会計補正予算など19件を可決、請願1件を不採択、陳情1件を採択し、第4回定例会を閉会しました。



新年のごあいさつ

津南町議会議長 河田 強 一

新しい年が町民の皆さまにとりまして健やかで平穩な年でありませう心からお祈り申し上げます。

本年は、町制施行60周年の節目の年にあたり、当町発展のため議員一丸となり取り組む覚悟であります。昨年を振り返りますと、全国的には関東の大雪による被害、台風による被害、

広島の土砂災害、御岳山の噴火災害、長野県北部地震災害と災害続きの年でありました。尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被害にあわれた方々、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

津南町におきましては、台風の影響はあったものの比較的被害が少ない年であり、このまま無事に年明けとなるものと思っております。12月初旬から思いもよらぬドカ雪となり、一気に真冬の様相となつてしま

今年もよろしくお願ひいたします



ました。また、12月18日には国道405号で土砂崩れが発生し、一時通行止めとなりましたが早期の回復にほつとしております。

町民の皆さまも、このドカ雪には除排雪に苦勞され、生活に支障の方もいらしたのではないのでしょうか。例年ですとこれから降雪が本番ですので、ご留意いただきたいと思います。

当町でも少子高齢化が急速に進み、基幹産業であります農業や商工観光業の振興、そして後継者対策・雇用対策・所得向上対策が強く求められています。

地道にこれら振興策を進めている中で、12月22日には苗場山麓ジオパークが日本ジオパーク委員会から認定されました。誠に喜ばしい限りです。

また、第6回大地の芸術祭が予定される中、交流人口の更なる増加を期待しております。

今年、町議会議員選挙の年でもあります。残任期間、常に町民のための議会であることを念頭におき議会活動を深めてまいります。

今年一年、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



津南病院 阪本院長との懇談会



議会報告会の様子



中津小学校閉校式で議長あいさつ

決まったこと

条例の制定・改正

津南町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

要旨 人事院及び新潟県人事委員会の給与勧告に基づく期末手当の改正です。

反対討論 藤ノ木浩子 議員

議員の期末手当引き上げについては、その時期ではないと考え反対する。理由は年金削減、消費税増税、物価高で町民生活は大変厳しい。実質賃金16ヶ月連続減少と報道にあるように、多くの方が景気回復の実感がない現状である。

賛成9、反対6 可決

特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

賛成10、反対5 可決

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

要旨 人事院及び新潟県人事委員会の給与勧告に基づく給料表等の改正です。

賛成14、反対1 可決

津南町特定教育・保育施設、家庭的保育事業及び放課後児童健全育成事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

要旨 認定こども園関連基準を定めるものです。

賛成13、反対2 可決

人事

人権擁護委員に次の2名を全員賛成で再度推薦しました。

山田 隆一氏（芦ヶ崎）



本山 佐利氏（反里）



固定資産評価審査委員会委員選任

中島 芳文氏（大井平）



新潟大学農学部卒
平成22年12月より
平成25年11月まで
民生児童委員
(全員賛成で同意)

請願陳情・意見書

■消費税の10%への増税は延期ではなく、きっぱり中止することを求める意見書の提出を求める請願

賛成討論 藤ノ木浩子 議員

消費税は所得の少ない人に重くのしかかる税金である。5%への引き上げが景気悪化の引き金となり大不況となった。8%への引き上げも同様だ。失敗を3度も繰り返すのか。別の道を考えるべきだ。

賛成3、反対12で不採択

■JA改革に関する陳情書

全員賛成で採択

「JAグループの自己改革の実現に向けた意見書」を国に提出しました。

発議案

津南町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

欠席の届出について、「出産のため出席できない場合は、あらかじめ日数を定めて、議長に届け出なければならぬ。」を加えました。

主な補正予算

補正予算を審議し原案どおり可決しました。

一般会計

補正額 4,941万円
総額 68億7,474万円

主な歳入

- 障害者自立支援国庫負担金 2,809万円
- がんばる地域交付金(国庫補助金) 1,469万円
- 地域文化振興施設整備事業町債 3,120万円

主な歳出

- 総務費
- 旧上郷中学校改修等工事費 3,121万円
- 民生費
- 介護保険繰出金 1,419万円
- 住宅費
- 子育て支援住宅修繕費 792万円

特別会計

介護保険特別会計
補正額増 1億1,152万円
総額 16億7,308万円
(主な内容) 介護サービス給付費増

大町政を問う!!

ここが聞きたかった!!

一般質問 (13議員)

- ① 津端 眞一 議員 (P4)**
1. 津南町認証米の成果と今後の取り組みは
2. 大地の芸術祭の取り組み状況は
- ② 根津 勝幸 議員 (P5)**
1. 農業の域内所得は向上しているのか
2. 有害鳥獣被害対策に独自の支援を
- ③ 大平 謙一 議員 (P5)**
1. 魚沼米の価格安定をどう図るのか
- ④ 中山 弘 議員 (P6)**
1. 冬季の暖房に間伐材利用の補助を
2. 循環型農業推進を
- ⑤ 石田 タマエ 議員 (P6)**
1. 「いこいの家」の環境充実を
2. スクールバスの完全実施を
- ⑥ 桑原 悠 議員 (P7)**
1. ニュー・グリーンピア津南の今後は

- ⑦ 藤ノ木 浩子 議員 (P7)**
1. 高校生への通学費補助の創設を
- ⑧ 桑原 洋子 議員 (P8)**
1. 米価暴落に地域商品券を
2. 住宅改修補助金制度の継続を
- ⑨ 恩田 稔 議員 (P8)**
1. 第5次津南町総合振興計画の進捗状況は
2. 国道353号道路改良の考えは
- ⑩ 風巻 光明 議員 (P9)**
1. 苗場山麓償還金格差の負担軽減を
- ⑪ 吉野 徹 議員 (P9)**
1. 観光にQRコードの活用を
2. 小集落の行方は
- ⑫ 村山 道明 議員 (P10)**
1. 保育士増員の考えは
2. 米の販売戦略は
- ⑬ 滝澤 茂光 議員 (P10)**
1. 北陸新幹線開通への対応は
2. 大割野ヘドドライブイン構想を

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

津南町認証米の取り組みは

条件として堆肥の施用を

津南町認証米は他産地との差別化に取り組み産地間競争に勝たなければならぬ。全国的には減農薬栽培等の特裁米が流れである。津南町認証米に堆肥の施用を条件としてはどうか。

町長 津南町認証米は日本一の魚沼産米として、食味とともに安全、安心、好食味でばらつきのない米として、消費者ニーズに込んでいる。今後も消費者ニーズを考え100%作付けを望む。

地域振興課長 循環型農業としての取り組みは望むが、認証米作付に堆肥の施用を条件とすると作付面積は減少する。国の対策として、1トン4,400円、0.5トン2,400円の補助制度があり、個人対応をして頂

問 前回のように、町中心部にインフォメーションセンター設置ができないか、また職員で外国人の来町者に通訳対応できないか。

町長 商店街、大割野地域の皆さまの理解をいただき積極的に進めたいが、行政主体では取り組みまない。通訳についてはスマートフォンで旅館などでは、ある程度は対応できている。狭山市制60周年では若い職員が通訳していたという例もあり、当町の若い職員の中にも、英会話のできる職員がいるので検討したい。



津南町認証米の厳しい検査

きたい。また集荷業者単位で取りまとめているので相談したい。

大地の芸術祭に向けての取り組みは

域内所得は向上しているのか



根津 勝幸 議員

問 町長は「認証米制度」を目玉政策と位置付けられれば有り難いと言われたが、認証米の栽培面積も増加傾向にない。補助金もなくなると言うことだが、今後も続けていただきたいがいかがか。

町長 津南町認証米は魚沼産コシヒカリの方向性を考えるに必要と考える。補助金については今後、的確に判断する。

問 苗場山麓開発地の有効利用がこれからの津南の農業にとって大事だと言われたが、アスパラの新植に県単の補助を付けているが、これが苗場山麓開発地の主たる作物になるとお考えか。

町長 開発地全部とはいかないが、昨年は作付面積58

津南町認証米とアスパラについて伺う

ヘクタール、生産農家169戸、収量は182トン、生産額1億5,800万円。野菜としては面積売上額ともに多い。津南のアスパラはやわらかく、甘みの強い品種で主力野菜として面積拡大を図りたい。

有害鳥獣被害対策について

問 町は国の補助金利用で出荷物に対し費用対効果があり、電気柵に補助金を支出しているが、出荷もの以外でも被害にあっている。集落単位での取り組みや、団地にまとめるなど、町単独での支援ができないか。

町長 自家菜園における人身被害等も考え、町単独の支援も考える。



津南町の主力野菜「アスパラ」の作付拡大を

—Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

魚沼米、今後の価格安定どう図るのか



大平 謙一 議員

問 津南町認証米への今後の取組みについて伺う。

町長 認証米は今後も継続する。また補助金の継続についてはもう少し時間をいただきたい。

問 飼料米へのシフトとそれに合わせて粉砕施設を独自設置し地域のリーダー的立場を確保すべきと思うが考えを伺う。

町長 飼料米については畜産農家、特に養豚農家では米粉を食べさせることにより肉質の向上が認められているが域内での流通には粉砕機の設置、保管庫、運搬車の確保などかなりの投資が必要である。今の国農政はネコの目農政といわれ将来が見通せない。また稲作農家も現状ではコシヒカリ

ブランド米をどのようにして守るのか

の栽培が有利と考える。津南は良質米の生産を目指す。

問 JA任せでない津南米販売力強化策については。

町長 津南町認証米を取り扱っている6社と協力し合って努力している。町の取組みでは私が先頭に立つことは無論であるが認証米の商標登録やのぼり旗、独自パンフレットの作成、食の大使の任命、おにぎりなどでPRし、即売会の実施など販売力強化を図っている。

問 町が直接ホテルや有名チェーン店に売り込む気はないか伺う。

地域振興課長 米を持って売りに歩くよりも認証米のPRをした方が良く考えている。減農薬減化学肥料米、認証米は早く売り切れている。

問 県間調整、今後の取組みについて伺う。

町長 協議会で毎年検討し早期に農家に説明している。

地域振興課長 県間調整は市町村の考え方であり、魚沼地域では3JAが積極的に取り組んでいる。



津南町認証米を有名店に

地球温暖化防止の取り組みは



中山 弘 議員

ペレットストーブに補助制度を

問 森林保護による間伐材利用も温暖化を遅らせる要因であり、冬季の暖房にまきストーブやペレットストーブの推進と補助の考えはあるか。

町長 津南町森林組合と連携して24年度から苗場山麓龍神の森プロジェクトで事業費の助成をしており、カーボンオフセットのクレジット販売と間伐を推進し、地球温暖化防止対策になればと考えている。また、ペレットストーブと石油ストーブの経済的比較をすると木質燃料活用は難しい面もあり、今後町民のニーズを注視しながら的確に対応する。



間伐材によるペレットストーブの普及を

循環型農業推進を

問 バイオマス発電を利用した循環型農業や河岸段丘の高低差で小水力発電、地熱発電や太陽光発電は雪国津南町でも可能と思うが今後の展望を伺う。

町長 再生可能エネルギーは現在電力各社が買入協議を中断しており、目処が立っていない。津南町の基本方針は採算が取れる発電は導入するが、バイオマス発電は採算性が不透明であり詳細に検討する必要があると感じる。小水力発電は適地が見当たらず、太陽光発電も積雪の障害がある。

問 採算性や可能性だけではなく地球温暖化縮小に協力・協賛の考えを伺う。

町長 入念の検討が必要である。補助をする場合、採算性はエコ化に重要な課題である。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

障害者総合支援センター機能の整備を



石田 タマエ 議員

「いいこの家」の環境充実を

問 「地域活動支援センター！いいこの家」は、切れ目のない支援を目指した障害者総合支援センター機能を提案しているが、現施設では困難を極める。平成27年度早急な対応を求める。

町長 複合的な福祉サービス機能を備えた施設整備を来年度に向けて取り組んでいる。

津南小学校の環境整備を

問 津南小学校は教室の数に不足が生じている。新しく津南小学校に通う子供たちの教育環境が後退してしまいが、整備の見通しを問う。

教育長 先ずは、特別支援教室増築・体育館屋根改修・内装木質化を順に考えているが、年次計画を立てて進めたい。

スクールバスの完全実施を

問 現在の通学手段は、スクールバスと路線バスと事業者委託等の組み合わせで実施している。安心して学校に通わせるために、全町スクールバスの実施に向けて再度検討を望む。また、地域公共交通の抜本的な見直しが必要ではないか。

教育長 中津・外丸地域でもスクールバスを望む声がある。

平成22年度から現在の公共交通体系が始まり、定着してきたが、下校時の不便が指摘されており、関係機関と現在協議中。保護者の心情・要望は理解できるが、当面は現状で安全を第一義に考え、利便性を高められるよう努める。

町長 公共輸送体系が時代とともに変わってきている。町独自の輸送体系を考えていない訳ではないが、一度始めた中途でやめる訳にはいけないので、補助事業が該当するか否か、事業者への影響などをしっかりと考えて行く。



利用ニーズが高い「いいこの家」

ニュー・グリーンピア津南の今後は



桑原 悠 議員

ニューグリーンピア津南 をどうするのか

問 町有財産のニュー・グリーンピア津南は、来年9月末で賃貸借契約が切れる。初期の方向性は。

町長 観光振興の核となる施設であり、今後とも存続させなければならぬ。10年後、またはその先のあり方も検討しており、来年4月までには町民に具体的に報告する。

問 多くの町民が最も腑に落ちていない点は、この民間事業者に対して、大規模施設にしては300万円という少額の賃料のうえ、修繕料も町が支出するのではないかとというダブルの救済策に対してだ。修繕に町の予算を使うのか。



町内にプラスの波及効果をもっと必要だ

町長 この点も併せて検討中であり、来年4月までに検討結果を出す。基本的には、一義的に負担しない方向で考えている。万一、町が負担する場合、10年先、またはその先の存続の見通しがたつことが前提だ。

問 町有財産であるので、今後修繕を含めた施設の活用の方々は、事業者の意図を汲んだだけのものではなく、町民の提案を取り入れ、納得する形で進めてほしいがどうか。

町長 町民の提案の内容による。

—Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

高校生への通学費補助制度創設を



藤ノ木 浩子 議員

高校生の学びを 支えるために

問 津南高校がなくなり、中等校生以外は町外の高校へ、また中等校へも町外から遠距離通学の学生は多い。こうした高校の再編や学区拡大等で高校生も保護者も負担は重くなっていると感じる。

町長 これまでも保護者の多くが我が子の勉学について、身を削る思いで頑張ってきていただいた。償還型の奨学金制度を活用いただきたい。

町長 これまでも保護者の多くが我が子の勉学について、身を削る思いで頑張ってきていただいた。償還型の奨学金制度を活用いただきたい。

問 高校生は自宅からの通学が一般的だ。町内の学生が十日町市をはじめ、魚沼市、長岡市へも通う姿を見てきた。公共交通のバスもその通学に合わせ駅まで入るが、バス代が高いという声も聞く。通学に大変費用がかかっているが、遠距離通学の現状をどう見ているのか。

町長 負担が重い方には色んな軽減策があると思うているが、まずは奨学金を活用いただきたい。現在活用はないため普及をしていただけたらと考える。

問 高校教育は義務教育と同等になっている状況だ。園児も義務教育も通学費支援をしている。子育て支援として検討していただきたい。

町長 奨学金制度の活用が高まってくれば、その増加を考えてもいいかと思っている。



車や列車を利用して十日町・魚沼方面へ通学する高校生

農家3重苦、米価補てんを



菜原 洋子 議員

米価暴落に 地域商品券を

問 安倍政権はアベノミクスの行き詰まりから、「地方創生」をしきりに言っている。しかし大企業の「稼ぐ力」強化のためにその犠牲を、家計と地方に押しつけている。農家は、消費税増税で生産資材が上がる、米価暴落、更に物価上昇により買物や改修も困難という3重苦だ。

町長は前回の議会で、「政府の米価下支えは必要」と言われた。今政府がその責任を履行しない中、政府を動かすためにも町長が先頭に立ち地域商品券など米価補てんにやる気を見せて頂きたい。また、来年度認証米の補助金をなくするとしながら増産する根拠は何か。



米価の下支えが必要

町長 米価下落対策は本来国の責任において対策を講ずるべきもの。国にしっかりとその対策を求めていきたい。町からの直接的な米価補てん対策はむずかしいものと考えている。

認証米の来年度の助成措置については少し時間をいただきたい。

津南町認証米、差別的良質米を生産していくことが最低限の条件であるという認識を、農家自身からもっていただくことが何よりも大切だと考える。

住宅改修補助金制度継続を

問 過去6年間で経済効果は18億円。補助金額の約14倍である。来年度も同条件で継続を、更に過去5年経過後も利用できるようにされたい。

町長 今後のあり様を鋭意検討している。個人財産への補助であり、慎重な判断をしていきたい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

第5次津南町総合振興計画を問う



恩田 稔 議員

振興計画の進捗 状況は

問 第5次津南町総合振興計画は平成23年度に立てられ、来年度は前期終了年となる。この間、毎年行政評価し、予算に反映させていると思うが目指す将来像に近づいているのか疑問である。民間の有識者がつくる「日本創成会議」の人口減少検討部会では2040年に若年女性が大幅に減少する896自治体を「消滅可能都市」と位置づけた。従来通りの考え方で行政運営をしていては、津南も例外ではない。進捗状況をどのように捉えているのか。

町長 リーマンショックの影響やデフレ経済、あるいは長野県北部地震をはじめとする多くの災害が発生し、復旧・復興を最優先に行政

運営をしてきた。健全財政を堅持しながら、農業施策、観光施策などを積極的に推進してきたが、2年続けての米価下落や高齢化による面積拡大未達などにより、数値目標においては農林産物販売額や観光客の入れ込み数などは達成することができなかったが、全体ではまずまずの計画達成ではないかと考えている。

国道503号道路改良について

問 旧中里村の山崎交差点から飯山線を横断し干溝地区までと、小原からミオン中里までの区間の改良工事が進んでいる。この区間が終われば、残りは宮中から鹿渡新田の区間だけになる。

この道路は川西地区にとっては地域活性化には何としても必要である。町は今後どのように進める考えか。

町長 費用対効果では難しいと思われる面もあるが、一般国道353号改良整備促進期成同盟会の中で要望していく。



人口減少をカバーする交流・観光

苗場山麓開発事業の償還金格差是正を

償還金格差に 負担軽減策を

問 苗場山麓事業完了から10数年経過した今、農業政策が様変わりし、取巻く環境は非常に厳しい状況だ。苗場山麓事業の工区により償還額に差がある中、米価下落により償還が大きな負担となっている。格差是正と負担軽減が必要だが町の施策を問う。

町長 償還額の差は国の補助率の違いが要因。第2地区は大谷内ダムなど導水路に多大な事業費を要し差が生じた。町としても総額33億9千万円を負担し努力している。今の農業の実状をふまえ、国県に追加支援を強く要望していく。

問 2年前にも同様な回答があったが、動きが見えない。現在の国の考えは。

地域振興課長 国も実状を理解している。一定の補助率の基に国営事業を採択し終った。あらゆる補助制度を駆使すると共に金利負担も国が行っている。更に追加支援は難しい状況である。

問 第2地区は国が急いで同意を求め、農家はそれに従った。結果的に早く行なった地区が高額になり不平等が生じた。この是正が必要では。

地域振興課長 国の制度は農地開発から区画整理へと大きく舵を切り直し、補助率が変わった。負担の大小は公平でないことは理解できる。第2地区は色々な補助を駆使したので理解をして頂きたい。

問 町単独での支援策はないのか。

地域振興課長 米価と関連して国の下支え制度にナラシ対策があり、総額1億2千万円試算している。

また一般農家も生産調整を達成していれば4千4百万円が補てんされ、合わせると水田面積の57%がカバーできる。



風巻 光明 議員



区画整理で効率化された水田

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町の観光や特産品をQRコード活用できないか

QRコードの対応

問 QRコードは最近様々な分野での取り組みが始まったばかりと思われる。町の四季折々の観光情報や特産情報の発信を願う。関係企業の方々も前向きに検討され町とのコラボレーションを望んでいる。早急な対応を願う。

町長 前向きに検討し是非取り組んでみたい。

観光看板の設置を

問 どの地よりも大自然豊かな町の観光ビューポイント(カメラポイント)の看板設置と安全対策の予算付け、合わせて観光協会での情報発信を願う。

町長 観光協会で積極的に取り組み、ホームページなどで情報発信をしたい。

小集落の行方について

問 集落維持に中心的な立場の方々の高齢化で、準限界集落、限界集落、消滅集落と分類されつつあり、関係地域の今後の集落管理や合併など心配される。町行政指導で臨んで欲しい。

町長 関係住民の立場を基に対応し進めていく。



吉野 徹 議員



ビューポイント「中津川溪谷」

保育士増員の考えは



村山 道明 議員

厳しい労働環境を改善すべきだ

問 全入所児童約260名の内、早朝や居残り保育の児童数が40%近くとなっている。保護者の子育て支援ニーズに応えて行くことが重要で、保育士増員が急務である。延長保育時間も午後6時30分まで延長を望むがどうか。

町長 保育園等整備検討委員会の答申書に示されたとおり、今後施設整備と人的体制を整えたい。延長保育は夕方6時であり、各園とも少人数職員で精一杯の状態である。保護者の就労状況から延長保育は個別に対応する。

米の販売戦略を考えよ

問 町産米を含め、日本の良質米生産拡大やお客様にとって喜ばれるブランド米の提供の取り組みを進めている。販売が低迷する市場で、

販路拡大に支援する必要があると考えるがどうか。

町長 日本一の食味と良品質米の生産に力を入れる事が重要だ。認証米栽培面積を増やしたい。

地域振興課長 町サイトでも安心安全をPRしている。販売は、それぞれの事業者の考えがある。

医師・看護師診療軽減に繋がる

問 4月から稼働した「米ねっとシステム」は魚沼地域の病院との患者診療情報連携ネットワークであるが、個人情報保護の安全性はどうか。登録数は。

町長 患者診療情報は、病院専用回線でデータセンターと接続しており安全である。患者や病院メリットもある。町登録者6人。

船山新田く反里口道路白線の施工は

問 定例議会質問の答弁は、町民に約束したものだ。道路区画線、横断標示施工について、今もってされていないが。

町長 中深見地内の道路側溝布設替工事に合わせて、27年春施工する。

子育て支援事業計画ニーズ調査結果

保護者の帰宅時間について (単位:人)

地区名	母						
	15時以前	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降
下船渡地区	5	11	16	24	6	2	1
外丸地区	1	1	0	9	1	0	0
上郷地区	1	3	2	9	3	4	0
芦ヶ崎地区	3	6	3	6	4	3	0
秋成地区	0	0	0	2	1	0	0
中深見地区	1	0	2	2	4	0	0
合計	11	21	23	52	19	9	2
	8%	15%	17%	38%	14%	6%	2%

地区名	父						
	15時以前	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降
下船渡地区	1	0	3	28	19	24	12
外丸地区	0	0	0	7	5	3	2
上郷地区	0	0	1	8	9	6	2
芦ヶ崎地区	1	1	4	7	7	5	1
秋成地区	0	0	0	4	0	1	0
中深見地区	0	1	0	4	7	1	0
合計	2	2	8	54	47	39	17
	1%	1%	5%	34%	27%	23%	9%

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

大割野へドライブイン構想を



滝澤 茂光 議員

入込客への対応は

問 北陸新幹線開業への対応は。栄村では道の駅の大幅な拡張工事を行っている。津南町としても観光事業への期待も大きい町の対応策は。

町長 飯山駅のPRセンターに津南町のパンフレット等陳列し、宣伝する。

また、関西圏への観光売込みと雪国観光圏では交通体系の見直しや観光客対応のJRダイヤ見直しなど研究、協議をしているが決定打は見つかっていないころである。

問 車社会にあつて津南町の中心地である大割野商店街にはいまだに大型観光バス等の駐車スペース不足の現状である。計画性をもって空き家や空き店舗を

行政主導で駐車場などに確保し将来の活用に必要なと考える。大型ドライブイン構想を提案したいが町長の考えを問う。

町長 大割野に大型ドライブインとなれば相応の土地が必要、民間で計画がされれば町としても協力する。



誘客につなげたい飯山駅

平成27年度 建築要望

町長へ要望

町議会では、平成26年11月25日に来年度の予算編成に向け、諸事業の要望書を町長に提出いたしました。これを受け、12月9日に町長から要望事項の回答をいただきました。主なものは次のとおりです。

総文福祉常任委員会



保育園入口の信号は感知式に



プライバシー保護に配慮を(津南病院中待合室)

- 【総務関係】
 - 要望 国道の横断歩道や信号機の設置及び、通学路や保育園の出入りの安全確保に万全を期されたい。
 - 町長 通学路や保育園出入りは関係機関と連携しながら安全確保に努める。国道の安全対策は十日町警察署に要請を行っていく。
- 【教育関係】
 - 要望 未満児の受け入れ月齢の引き下げ、延長保育並びに学童保育時間の延長など、保護者の就労支援に配慮した環境整備を望む。
 - 町長 保護者のニーズ調査や、学童保育専用施設建設を見据えて検討する。
- 【福祉保健関係】
 - 要望 介護予防、生活支援体制等の在宅サービスの充実を図られたい。
 - 町長 地域密着型施設整備を計画的に実施しながら、サービスの充実を図る。
- 【病院関係】
 - 要望 外来診察室における患者プライバシーの確保を求める。
 - 町長 雑踏音器の使用や中待合室の使用中止等で患者様のプライバシーを守る方法を模索検討する。

産業建設常任委員会



人里に出没する動物対策を



津南産米の販売強化を

- 【農林関係】
 - 要望 有害鳥獣被害に特措法の活用で強化を。
 - 町長 国の事業を含めて町単事業として検討し、電気柵や罠を含めて検討する。
 - 要望 津南町認証米制度の継続と農林産物の流通販売対策とPR活動に取り組み強化を。
 - 町長 津南町認証米制度は補助が無くても取り組まなければならないが、補助金の継続については検討の時間を要す。
 - 【観光事業】
 - 要望 北陸新幹線開通に伴い、飯山線の活性化を働きかけられたい。
 - 町長 2月下旬より「ふるさと」のイメージを具現化した新しい列車が運行予定である。SLやハイブリッド車両の運行は今後とも要望していく。
 - 【建設関係】
 - 要望 町道の除雪体制に万全を期されたい。
 - 町長 消雪パイプの更新や直営での機械除雪路線と委託路線を組み合わせて対応する。
- 27年度は除雪ドーザの更新を予定している。

※建築要望とは……「建設的な政策要望」の略で毎年議会が町長に対して行う政策提案です。

総文福祉委員会レポート

●委員長 草津 進

民生児童委員との懇談会

とき 9月17日(水)
ところ 津南町役場会議室

内容 障がい福祉部会

平成26年設立され、多くの議員も参加している「いきいき町づくり支援協議会」の活動状況は。

回答 任意の団体で1月よりスタートし、3障がい者やボランティア活動に対し行政では手の届きにくい所を、金銭面や活動でフォローしており、会員数は約100名とのことです。
青少年福祉部会

少子化対策として、女性の社会進出と未満児保育が津南町は8カ月となり保育しているが十日町市は3カ月より保育してもらえが見解は。

回答 津南町は福祉施設など比較的女性の活躍の場が多いです。保育園の制度など働きやすい環境を整えることが必要と考えています。また未

満児保育は「保育園等整備検討委員会」で検討しています。

高齢者福祉部会

高齢化が進みどこの地域も限界集落化しているが、住民の負担軽減の具体的対応策は。

回答 「地域おこし協力隊」を入れて活性化を図っています。また人的支援については総務省で色々な制度がありますので研究したいと考えています。冬期保安要員も配置しています。

地域福祉部会

ジオパーク構想で道路などの環境美化が必須だが、今後の道路清掃と管理については。

回答 国道については企業が担当しています。連絡を頂ければ対応することになっています。

懇談を終えて

民生児童委員制度が始まってからあと3年で100年を迎えます。地

道な活動ですが、地域の人にとってなくてはならない委員だと感じました。議会としても意見・要望をお聞きし町政に反映してまいります。

(担当：風巻光明)



身体障がい者互助会の行動訓練に民生委員と議員も一緒に善光寺参り

国民健康保険勉強会の実施

とき 11月12日(水)
ところ 津南町役場会議室

内容 国民健康保険制度についての勉強会を、桑原司福祉保健課長を講師に行いました。

- ① 保険の給付状況
- ② 保険料の状況
- ③ 財政状況
- ④ 後期高齢者医療制度事業の被保険者の状況、保険給付状況、保険料の状況、決算状況等について

国民健康保険の新潟県における津南町の位置付けは次のとおり。

- 国保加入率4位
 - 保険料収納率2位
 - 一人当り保険料30位
 - 一日当り医療費1位
 - 受診率29位
 - 一件当り医療費1位
 - 一般被保険者一人当り医療費28位
 - 一般被保険者一人当り高額医療費29位
 - 一般被保険者受診率29位
- 「23年度国保団体連合会編」

勉強会を終えて

津南町の国保会計は国保加入者が減少している中で、医療費は増えて厳しい状況です。高齢化が進んでいるのが要因ですが、日頃から予防医療に心がけ健康寿命を高める心掛けと努力が必要と感じました。

(担当：伊林康男)

産業建設委員会レポート

●委員長 大平 謙一

町建築協議会との懇談会

とき 10月10日(金)

ところ 商工会館2階研修室

内容 町建築協議会から以下の3つの要望が出され、それに基づき意見交換を行いました。

①住宅改修補助金制度の継続

過去に交付を受けた人も3年経過したら新たに補助対象とする要望があり、委員会で議論しました。

②小規模事業者への建物等改修補助金制度の新設要望

小規模事業者への支援策として要望がありました。委員会としては、「公的な支援は町民個人の生命・身体に関する支援が優先されるため、企業への支援は現時点では難しい」と回答しました。

③高齢者生活支援対策事業補助金制度の新設要望

高齢者一人暮らし、二人暮らし世帯が増えるなか、生活不安解消のため、

め、別建てで小規模改修工事費の補助要望がありました。委員会では、現在福祉事業として類似の補助金があると説明しました。



町建築協議会
会長 大平政栄さん

この懇談会は10年以上も続いており、大変意義あるものと思っております。特に住宅改修補助金制度は、町内の建築業界の活性化や対象者への支援にもおおいに役立っていると感じております。今後とも要望の多い協議会ではございますが、懇談会の継続をよろしくお願いします。

懇談を終えて

建築を通して、町民の声を聞いている建築工事関係者の話を聞き、色々な要望をいただいたことはありがたいです。

住宅改修補助金制度に関しては、過去に利用した者も5年も経過すると家族の事情が変わる場合も考えられ、「5年以上経過した場合」という条件付きで、行政に対して制度の継続要望を行いました。

(担当：桑原 悠)

新飯山駅視察

とき 11月19日(水)

ところ 新飯山駅

内容 3月14日開業予定の北陸新幹線新飯山駅ですが飯山線部分は、11月9日に開業しています。3階建てで、改札は2階にあり、ホームは新幹線は3階、飯山線が1階です。新駅に併設される「飯山駅観光交流センター」もオープンします。特に市民からの協力金1,000万円で作製された「からくり時計」、1時間おきの毎正時に動き見ごたえがあります。

す。今後「信越自然郷エリア」を主観光PRし誘客を目指していくとのことでした。



北陸新幹線 飯山駅視察

視察を終えて

「信越自然郷」同駅半径20km圏9市町村で広域観光連携する。そのPR観光パンフが所狭しと列べられていました。津南町のパンフPRを是非どうぞと勧められました。同駅から、雪国観光圏(津南町)を積極的に情報発信すべきであると強く思いました。

(担当：村山道明)



町民登場

この人に会いました・・・



さい じょう とし こ
西 條 利 子さん(大割野)

今回は表紙の長生学園で活躍しているフラダンスクラブの会長さんにお会いしました。

Q 津南町に住んだ理由は？

川崎市から津南町に移住して20年くらいになります。山歩きが好きで最初は十和田湖周辺の山々を登りました。それから友達が塩沢にいて津南も良い所だからということ、苗場山などを歩き鈴木牧之に魅せられたのが一番の理由です。ですから最初は小赤沢に2年くらい住んでいたのですよ。

Q フラダンスを始めたきっかけは？

川崎で生協の役員をやっていた時に、仲間とフラダンスを横浜博覧会で踊ろうと練習して出場できたのがきっかけです。

Q 津南町でフラダンスは馴染めなかったのでは？

そんなことはなかったです。若い人も入ってくれて当時2班に分かれ20人くらいいました。今は年をとってしまいました。まだ17人も続けています。年に何回か介護施設で披露していますが、大きな拍手をいただいた時は最高の喜びです。

Q 親戚に有名人がいるとのことを聞きましたか？

作詞家で詩人の「西條八十」の弟が私の夫でした。でも夫は50代で早く亡くなってしまいました。とても「イケメン」だったのですよ。…西條さんもとても美人だったでしょうね。(笑い)

Q フラダンスは健康に良いのですか？

ダンスは横歩きが多いわけですが、これが足腰を鍛えたり健康づくりにとても良いそうです。

Q 他にもボランティアを行っていると聞いていますが？

隣組の人を集めて「健骨体操」を私の家で独自に行っています。そのあと皆でお茶飲みをして健康維持に努めています。

「津南町は米も野菜も水も美味しいし、人情味もよく、移り住んで本当に良かった」。津南町をこよなく愛する人でした。

編集後記

Editor's postscript

12月の初雪が思わぬ大雪となりビックリしたのではないのでしょうか。雪のシーズンも折り返し地点にきましたが、もうしばらく頑張りましょう。

12月定例会の一般質問では米価の下落を受け認証米制度の継続など、多くの提言が行われました。また27年度の予算編成時期に当たり次年度に向けた施策について活発な討論となりました。

10月31日よりインターネットの議会のページが新しくなりました。議員紹介や活動報告など皆様にとって分かりやすいように工夫をこらしてみました。検索は津南町のトップページの「津南町議会」をクリックしてください。多くの方からご覧いただけることを期待しています。

昨年11月には外丸小学校と中津小学校の閉校式が行われました。来年度から津南小学校と一緒に多くの友達ができることを願っております。中津

小学校の閉校式での元気な歌声に勇気もらいました。(風)



中津小学校閉校式で元気に歌う児童

